

目次

I. 総括研究報告書

アルツハイマー病患者に対する生活行為工程分析に基づいたリハビリテーション介入の標準化に関する研究	1
鹿児島大学医歯学域医学系	田平 隆行

II. 分担研究報告書

1. 生活行為工程分析表 (PADA-D) による意味性認知症患者のADL評価と課題	7
大阪大学大学院医学系研究科	池田 学
2. 生活行為工程分析表を用いた認知症及び軽度認知障害者のIADLの特徴	15
東京都健康長寿医療センター東京都健康長寿医療センター研究	栗田 圭一
3. 高齢者の認知機能と生活活動および生活行為能力に関する文献レビュー	20
鹿児島大学医歯学域医学系	牧迫 飛雄馬
4. 認知症初期集中支援チーム対象者における生活行為の課題分析に向けた予備検討	24
群馬医療福祉大学リハビリテーション学部	山口 智晴
5. 認知機能障害を有する高齢者における生活行為レベルの目標設定可否の割合とその要因に関する検討	27
東京工科大学医療保健学部作業療法学科	友利 幸之介
6. 在宅AD患者を対象に生活行為工程分析表を用いたリハビリテーション介入効果の検証およびAD患者の生活行為に対するリハビリテーション介入に関する文献レビュー	32
大阪府立大学 地域保健学域総合リハビリテーション学類	田中 寛之
7. アルツハイマー病患者における独居/同居別の日常生活能力の差	35
熊本大学病院神経精神科	吉浦 和宏
8. アルツハイマー病患者における生活行為とMini-Mental State Examination下位項目との関連	39
熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野	Han Gwanghee
9. アルツハイマー型認知症高齢者の作業活動中の経時的情動変化に関する研究	44
鹿児島大学医歯学域医学系	吉満 孝二

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	49
---------------------	----